

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
古典・古文	2	文理コース	A	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・時代によって、また人によって異なる多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・古語に対する知識を深める。 ・古典作品への興味を喚起する。 ・受験に向けた学力を伸ばす。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の音読を正しく聞く力。 ・古語を正しく音読する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古語を正確に筆写する力。 ・古語を適切な現代語に翻訳する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な古典作品に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が理解できる語句を増やすこと。 ・古典文法を理解すること。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	説話「安養の尼の小袖」 (古今著聞集) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・助動詞を中心に、既習の文法事項の定着を確認する。 ・敬語について確認する。 ・文学史的知識を得る。
	期末	物語「帝の求婚」 (竹取物語) 他 随筆 「世に語り伝ふること」 (徒然草) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。
二学期	中間	随筆「ゆく河の流れ」 (方丈記) 他 歌物語「通ひ路の関守」 (伊勢物語) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
	期末	随筆「うつくしきもの」 (枕草子) 他 軍記物語「忠度の都落ち」 (平家物語) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
三学期	期末	日記「門出」 (更級日記) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
評価の方法		学習態度・意欲（課題の提出状況も含む）・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		基礎を大切にし、古語を理解する力を高める。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『高等学校古典B』（明治書院）	
使用副教材		『これからの古典文法 三訂版』（尚文出版）他	
用意するもの		古語辞典	
備 考		特になし	

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
古典・古文	2	文理コース	B・C	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・時代によって、また人によって異なる多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・古語に対する知識を深める。 ・古典作品への興味を喚起する。 ・受験を意識し、マークシートにも記述にも対応できる学力を伸ばす。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の音読を正しく聞く力。 ・古語を正しく音読する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古語を正確に筆写する力。 ・古語を適切な現代語に翻訳する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な古典作品に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が理解できる語句を増やすこと。 ・古典文法を理解すること。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	説話「安養の尼の小袖」 (古今著聞集) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・助動詞を中心に、既習の文法事項の定着を確認する。 ・敬語について確認する。 ・文学史的知識を得る。
	期末	物語「帝の求婚」 (竹取物語) 他 随筆 「世に語り伝ふること」 (徒然草) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。
二学期	中間	随筆「ゆく河の流れ」 (方丈記) 他 歌物語「通ひ路の関守」 (伊勢物語) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
	期末	随筆「うつくしきもの」 (枕草子) 他 軍記物語「忠度の都落ち」 (平家物語) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
三学期	期末	日記「門出」 (更級日記) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
評価の方法		学習態度・意欲（課題の提出状況も含む）・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		古語を理解する力を高め、受験を意識して学力の向上を図る。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『高等学校古典B』（明治書院）	
使用副教材		『これからの古典文法 三訂版』（尚文出版）他	
用意するもの		古語辞典	
備 考		特になし	

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
古典・古文	1	文理コース	D	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・時代によって、また人によって異なる多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・古語に対する知識を深める。 ・古典作品への興味を喚起する。 ・センター試験を意識して、学力を伸ばす。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の音読を正しく聞く力。 ・古語を正しく音読する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古語を正確に筆写する力。 ・古語を適切な現代語に翻訳する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な古典作品に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が理解できる語句を増やすこと。 ・古典文法を理解すること。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	説話「安養の尼の小袖」 (古今著聞集) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・助動詞を中心に、既習の文法事項の定着を確認する。 ・敬語について確認する。 ・文学史的知識を得る。
	期末	物語 「帝の求婚」(竹取物語) 随筆 「世に語り伝ふること」 (徒然草) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。
二学期	中間	随筆「ゆく河の流れ」 (方丈記) 他 歌物語「通ひ路の関守」 (伊勢物語) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
	期末	随筆「うつくしきもの」 (枕草子) 他 軍記物語「忠度の都落ち」 (平家物語) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
三学期	期末	日記「門出」 (更級日記) 他	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・既習の文法事項を確認する。 ・文学史的知識を得る。 ・単語テスト
評価の方法		学習態度・意欲(課題の提出状況も含む)・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		古語を理解する力を高め、受験を意識して学力の向上を図る。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『高等学校古典B』(明治書院)	
使用副教材		『これからの古典文法 三訂版』(尚文出版) 他	
用意するもの		古語辞典	
備 考		特になし	

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
古典・漢文	2	文理コース	A	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢籍の豊かで多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・漢文を読解する力を高める。 ・漢籍への興味を喚起する。 ・受験に向けた学力を伸ばす。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の音読を正しく聞く力。 ・漢文を正しく音読する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文をを正確に書き下す力。 ・漢文を適切な現代語に翻訳する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な漢籍に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を正確に行えるようにすること。 ・句法・漢語を理解すること。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	故事・逸話 「矛盾」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
	期末	史伝・史話 「太公望」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
二学期	中間	詩 「竹里館」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・漢詩についての知識を確認する。 ・文学史的知識を得る。
	期末	文 「五柳先生伝」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・筆者の主張を読み取る。 ・名家の文章を味わう。 ・文学史的知識を得る。 ・センター試験・私大入試を意識した問題演習を実施する。
三学期	期末	寓話 「五十歩百歩」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
評価の方法		学習態度・意欲（課題の提出状況も含む）・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		基礎を大切にし、漢文を理解する力を高め、受験に向けた学力を伸ばす。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『高等学校古典B』（明治書院）	
使用副教材		『必携新明説漢文』（尚文出版）他	
用意するもの		漢和辞典	
備 考		特になし	

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
古典・漢文	2	文理コース	B・C	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢籍の豊かで多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・漢文を読解する力を高める。 ・漢籍への興味を喚起する。 ・受験を意識し、マークシートにも記述に対応できる学力を伸ばす。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の音読を正しく聞く力。 ・漢文を正しく音読する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文をを正確に書き下す力。 ・漢文を適切な現代語に翻訳する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な漢籍に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を正確に行えるようにすること。 ・句法・漢語を理解すること。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	故事・逸話 「矛盾」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
	期末	史伝・史話 「太公望」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
二学期	中間	詩 「竹里館」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・漢詩についての知識を確認する。 ・文学史的知識を得る。
	期末	文 「五柳先生伝」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・筆者の主張を読み取る。 ・名家の文章を味わう。 ・文学史的知識を得る。 ・センター試験・私大入試を意識した問題演習を実施する。
三学期	期末	寓話 「五十歩百歩」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
評価の方法		学習態度・意欲（課題の提出状況も含む）・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		漢文を理解する力を高め、受験を意識して学力の向上を図る。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『高等学校古典B』（明治書院）	
使用副教材		『必携新明説漢文』（尚文出版）他	
用意するもの		漢和辞典	
備 考		特になし	

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
古典・漢文	1	文理コース	D	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢籍の豊かで多様なものの見方や考え方に触れる。 ・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。 ・漢文を読解する力を高める。 ・漢籍への興味を喚起する。 ・センター試験を意識して、学力を伸ばす。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の音読を正しく聞く力。 ・漢文を正しく音読する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文をを正確に書き下す力。 ・漢文を適切な現代語に翻訳する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な漢籍に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を正確に行えるようにすること。 ・句法・漢語を理解すること。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	故事・逸話 「矛盾」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
	期末	史伝・史話 「太公望」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
二学期	中間	詩 「竹里館」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・漢詩についての知識を確認する。 ・文学史的知識を得る。
	期末	文 「五柳先生伝」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・筆者の主張を読み取る。 ・名家の文章を味わう。 ・文学史的知識を得る。 ・センター試験・私大入試を意識した問題演習を実施する。
三学期	期末	寓話 「五十歩百歩」他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読を確認する。 ・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。 ・情景や人物の心情を読み取り、テーマに迫る。 ・文学史的知識を得る。
評価の方法		学習態度・意欲（課題の提出状況も含む）・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		漢文を理解する力を高め、受験を意識して学力の向上を図る。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『高等学校古典B』（明治書院）	
使用副教材		『必携新明説漢文』（尚文出版）他	
用意するもの		漢和辞典	
備 考		特になし	